

冒険心が飛翔する“100人の戯空間” **ウイングフィールド**
 〒542-0083 大阪市中央区東心斎橋2-1-27 周防町ウイングス6F
 TEL(06)6211-8427 FAX(06)6211-6312
 ウイングフィールド公式サイト URL <http://wing-f.main.jp/>

WINGCUP10
 11/3(日)11:00 ウイングカップ10 参加作品
 3:30 脚本・演出/尾西節生
 7:00 「雪解け」
 4(月・祝)11:00 出演/劇団三日月
 3:30
 料金/前売 2,000円 当日 2,500円 リピート割 1,000円

大竹野正典没後10年記念公演企画 ウイングフィールド提携公演
 作・演出/小栗一紅

9(土) 3:30 「朗読劇 愛しのクマちゃん～くじらの日々～」
 7:30
 10(日)11:30 出演/くじら「本」会議 共催/くじら企画
 3:30
 料金/前売・当日精算 2,500円 当日 2,800円 学生 2,000円 (要学生証)

ウイングフィールドのりうち企画その99
 神原組プロデュース

16(土) 7:00 作・演出/神原組文芸部
 17(日)12:00 「わらわら草紙—四の章」
 4:00
 出演/神原組俳優部
 料金/前売 2,200円 当日 2,500円 高校生以下 1,500円 (要学生証)

WINGCUP10
 ウイングカップ10 参加作品

23(土)11:00★ 作・演出/和田見慎太郎
 3:30 「まつげにかかる灰」
 7:00
 24(日) 1:00 出演/点滅して冬
 6:00
 料金/一般前売 2,800円 一般当日 3,000円
 U35 前売 2,000円 U35 当日 2,500円 (要証明証)
 ★23日 11:00の回のみ 一般 2,300円 U35 1,800円 (前売、当日共)

WINGCUP10
 ウイングカップ10 参加作品

30(土) 1:30 作・演出補佐/前原R僚太 出演/北風ゆうたろう
 6:00 「あしれる」
 12/1(日)11:00 出演/劇団スターダスト日本
 3:30
 料金/2,500円 (前売・当日共)

大阪ならではの高校演劇祭HPF
 30年の齢を重ね、新たな「若さ」とともに
 まだ見ぬ次の地平へ 山本 篤

いつも思っていた、演劇に打ち込む大阪の高校生達を夢中にさせてきた、この画期的に素敵なイベントがいつまで続くのだろうか。そう思いながら、上演に、運営に参加し続けて、気がつくと30年が過ぎていた。このHPFの生みの親は、古賀かつゆき先生。30年前のその出会いの日を僕はよく覚えている。大阪高校演劇連盟の常任委員会に見知らぬ男性がふらりと現れ、「コンクールとは違う、高校生達の自由な発表の場を創りたいんですが、協力してもらえますか・」と、鼻の下で髭をユサユサ揺らしながら、実に楽しそうにそう語られた。

その拠点は、大阪・堂島の大阪観光専門学校の地下1階にあった小劇場「スペースゼロ」。最初の参加校はたった8校、それから年を追うごとに参加校は増え、協力して下さる劇場も増え、HPFの活動はどんどんその規模を広げていった。数年前にはついに30校を超える学校が参加し飽和状態となり、運営に支障が生じるということで、参加校数を抑制する為の工夫がやむなく行われている。

30年前このHPFの誕生が大阪の、いや、日本の高校演劇界で特筆に値するほど画期的であった点、それはその「自由度」にあった。当時、高校の校外での上演は、まずコンクールだけと言ってよかった。コンクールは一枚の上演時間は60分までと厳格に決められている。つまり、60分を超える作品の上演は高校生には想定外のことだったのだ。それを根底から覆してくれたのがHPFである。30年過ぎ

た今でも、大阪のこのHPF以外には、参加した学校が一つの劇場を一日借りきって上演するという高校の演劇祭は存在しない。他府県でも勿論演劇祭を様々に行っているが、決まって、ホールで一日に数校が上演する。その為、コンクール同様の時間制限が設定されている。

HPFのおかげで、高校生達は「高校生らしさ」という枠に束縛されなくなっていった。上演時間もプロの劇団同様の2時間以上の上演を、追手門学院や金蘭会などは毎年のように行っていた。途中で休憩時間を設けて、3時間半の上演を一日2回行うという無謀な事も平気でやり遂げた。HPFの「自由」が高校演劇の表現を飛躍的に拡大させていったのだ。ただ、曲がり角は必ずやってくる。13年目、それまでHPFを財政的に支えてきた専門学校が劇場を閉鎖し、HPFは幕を閉じることになったのだ。

その時、高校生達が毎夏楽しみにしているHPFを消滅させていいのかという声が、演劇部顧問達から強く上がった。そこで、ウイングフィールドの福本年雄氏をはじめとする劇場代表の方々、スタッフの皆さんの手厚い協力を得て、顧問を中心とする実行委員会システムを組織し、HPFを継続してきたのだ。そして17年が過ぎて現在に至る。様々な人達の善意に支えられてきたからこそ現在がある。その善意に心から謝意を表すとともに、財政面など山積する現在の深刻な課題を克服し、HPFならではの劇の「自由」をなんとか死守し、高校演劇の新たな地平を切り拓いていきたい、そう今、強く思っている。

HPF実行委員会代表 (金蘭会高校)

次代を担う表現活動を、微力ながら支援します。
 す お う ま ち
周防町ウイングス

